
令和5年度第1回（第60回）

気象予報士試験合格体験談

合格された受講生みなさんの中からアンケートにご協力いただいた方の声を届けます。学習の参考になれば幸いです。

お天気学園（日本気象株式会社）

合格体験談①

30 歳男性 たかさん 地方公務員



①気象予報士を取ろうとした目的は何ですか。

地方自治体は住民に直接避難指示を出す役割を担っていますが、私の職場には気象に精通している人はいませんでした。そこで、気象予報士の資格を取得し、いつか防災に寄与できる仕事ができたらいいなと思いました。

②合格するまで何年かかりましたか。

2年

③お天気学園を選んだきっかけは何ですか。

過去問の添削サービスなどが充実していたため。

④お天気学園入校から合格を勝ち取るまでの学習法をぜひ教えてください。

1. 問題を解いた後、コピーをとり、解答例を見ながら自分なりに添削・採点します。ここでは、必要なキーワードが抜けてないか、余計なことを書いていないか、的外れな解答になっていないかを確認します。

2. 解説動画を見て気づきがあれば、メモしておきます。③添削結果が帰ってきた後、必要に応じてノートにまとめます。

ノートは OneNote でまとめていました。移動時間等にもさっと確認できて便利です。

⑤お天気学園で学んで良かったことや、特に勉強になったことは何ですか。

丁寧な添削をしていただけること、解説動画が豊富で非常にわかりやすいことです。

⑥合格までに 2 年以上かかった方、または学科の免除切れを経験された方に尋ねます。長期間、粘り強く学習を続けるポイントを教えてください。

ありきたりではありますが、勉強を習慣化することだと思います。私は仕事後に勉強するスタイルだと疲れてやる気の起きないことがあったため、出勤前の朝に勉強していました。人により勉強のしやすい時間帯は異なりますが、自分なりのゴールデンタイムを見つけることが大切だと思います。

⑦あらためて合格通知が手元に届いた率直な気持ちをお聞かせください！

努力が報われたこと、素直に大変嬉しく思います。

⑧これから受験されるみなさまにひとこと！

特に実技試験は難しく感じると思いますが、こつこつと勉強を進めていけば合格できる試験だと思います。応援しています。



合格体験談②

32歳女性 みきていさん マスコミ関係

①気象予報士を取ろうとした目的は何ですか。

仕事で気象災害にかかわる業務についています。気象予報士の資格は必携ではありませんが、気象についてより理解を深めて仕事の幅を広げたいという思いから取得したいと思いました。

②合格するまで何年かかりましたか。

1年

③お天気学園を選んだきっかけは何ですか。

正直に言えば料金面で安かったからです。最初は「質問コース」の受講にしようと思いましたが、試験まで4か月というタイミングだったので、受講期間が3か月だと足りないと思い「実技コース」の受講をしました。結果、直前まで質問に答えていただけで良かったです。

④お天気学園入校から合格を勝ち取るまでの学習法をぜひ教えてください。

入校時は学科に科目免除のうえ、市販テキストで一通り実技の基礎知識を入れた状態でした。お天気学園には主に質問を目的として入校したので、どんどん過去問などの演習を解いて、わからない部分は質問していきました。

演習は、実技20回分（10年分）と実技コースのオリジナル問題6問をそれぞれ3周ずつ解きました。問題を解く中で、問題のエッセンス部分を自分でフラッシュカードにまとめたりして理解を深めていきました。例えば「Q 閉塞した低気圧の相当温位分布の特徴2つ」→

©お天気学園

「A①相当温位線が袋状になり、さらに進むと中心付近に極大域が取り残される ②相当温位線集中帯が中心から離れた左側に位置する」といったように、図解問題の注目ポイントを抽出していき、通勤時間など机に向かえない時間に学習できるようにしていました。

⑤お天気学園で学んで良かったことや、特に勉強になったことは何ですか。

なにより、わからないことを質問できることです！

気象予報士試験の過去問はあちこちに解説ブログがあり一見十分そうに見えますが、つまりいたり疑問に思うポイントは人それぞれで、解説を読んだからと言って疑問が解決するとは限りません。「私はこう考えたんだけど、なぜこうならないの??」「そもそも、図のここに注目する動機はなに??」といった質問を個別具体的にぶつけられるので、疑問点を残すことなく学習を進めることができました。

また、たとえば「前線解析の時に注目すべきポイントを自分なりに整理してみました。この理解であっていますか??」というような問題演習に紐づかない内容も質問することができたので、誤った知識を入れてしまうことなく、理解を深めていくことができました。

⑥あらためて合格通知が手元に届いた率直な気持ちをお聞かせください！

試験後に自己採点したときにはボーダーラインだと思っていたので、合格発表を見た時にはホッとして足元から崩れ落ちそうでした。

今までは「試験に合格するための勉強」でしたが、今後は実際の気象と照らし合わせながらさらに研鑽を積んでいきたいと思っています。

⑦これから受験されるみなさまにひとこと！

私は1回目の試験で学科2科目、2回目で実技、と戦略的に受験しました。特に社会人の方は勉強時間に限りがあると思いますし、学科と実技に必要な知識はそれほど結びつかない部分もあるので、こういった作戦もありだと思います。逆に学科2科目免除だと、確実に実技を採点してもらえるので勉強のモチベーションは上がりました。

実技にせよ学科にせよ、問題形式が変わっても問われることの本質は変わらないので、過去問を答えを覚えてしまうほど解いていけば必ず合格できると思います。また、完璧に解けなくても合格点さえ取ればいいとドーンと構えるのも大切かもしれません。ご健闘をお祈りします！

合格体験談③

51 歳女性 金目鯛さん 養護教諭



①気象予報士を取ろうとした目的は何ですか。

昔から気象現象に興味があって、なぜ雲ができるのか、なぜ雨が降るのかを知りたいという思いをずっと持っていました。それに加え、天気が崩れる前になると体調を崩す子どもたちに出会い、「気象病」と呼ばれる症状があることを知ったことがきっかけで、本気で気象について勉強してみたいと思いました。そしてそんな私の背中を最後に押したのは「おかえりモネ」でした（笑）

②合格するまで何年かかりましたか。

昨年の 1 月から勉強を始めたので、1 年と 8 ヶ月になります。

第 58 回 学科専門合格 第 59 回 学科一般合格 第 60 回 実技合格

③お天気学園を選んだきっかけは何ですか。

最初は独学での合格を目指していましたが、勉強するうち実技合格には専門家の助力が必要だと感じるようになりました。学科 2 科目の免除が決まった時点でいろんな講座のホームページを見てまわりましたが、決め手はサンプル動画の中西先生のお人柄しみ出る関西弁でした♪

④お天気学園入校から合格を勝ち取るまでの学習法をぜひ教えてください。

まずスケジュール帳を 1 冊用意して、試験日までのカウントダウンの日数を書き込みました。そして、その日何を勉強したかを記録するようにしました（勉強しなかった日は空欄になるため、サボりが一目瞭然）。お天気学園の問題と過去問を繰り返し解き、暗記が必要な項目だけをまとめたファイルを作成し、いつでも見られるように持ち歩きました。

⑤お天気学園で学んで良かったことや、特に勉強になったことは何ですか。

オリジナル問題はもちろんですが、過去問にも詳細な解説がついていて、本当にありがたかったです。動画でお話しされていた試験のコツも参考になりましたし、気象業務支援センターのホームページでは見られない過去に遡った過去問も見ることができたので、初見の問題をたくさん解く訓練になりました。また、質問に答えていただけたことや、返却答案に添えられていたコメントも励みになりました。（質問したことが当日試験に出て「もらった！」とテンションが上がりました！）

©お天気学園

⑥あらためて合格通知が手元に届いた率直な気持ちをお聞かせください！

発表当日、職場でネット確認したのですが半分信じられず、帰宅してハガキを見てやっと「ほんまに受かった…」と実感が込み上げてきました。数日経って今、嬉しいけど、ここで終わりにしたくないという気持ちが強くなってきています。気象の勉強は続けたいです。

⑦これから受験されるみなさまにひとこと！

お天気学園ではよく「捲土重来」という言葉を目にしますが、本当にそうだと思います。私は最初目指した一発合格は叶いませんでしたが、試験回数を重ねるたびに気象への理解が深まっていくのを感じました。歩みを止めなければ必ず目的地には近づいています。がんばってください！何歳からでも！

合格体験談④

男性 S さん 会社員



①気象予報士を取ろうとした目的は何ですか。

趣味と仕事のためです。

②合格するまで何年かかりましたか。

約 3 年。

③お天気学園を選んだきっかけは何ですか。

関西で通学できる所。また、講座の説明で信頼できる先生だと思ったため。

④お天気学園入校から合格を勝ち取るまでの学習法をぜひ教えてください。

基礎知識を講座の授業と資料で学び、市販の本で異なる角度からの解説で理解を深め、過去問を解く。過去問でわからない部分は講座の資料等を見直して、勉強し直すということの繰り返し。また、気象庁のホームページ等、インターネット上の資料も参考になりました。

⑤お天気学園で学んで良かったことや、特に勉強になったことは何ですか。

先生に巡り会えた事です。日々の質問を先生からわかりやすく教えて頂けるので、疑問を持ち越せず、解消しながら進めたことです。また一緒に勉強する仲間と出会え、モチベーションの維持に繋がりました。

特に勉強になったことは、独学では勉強しづらい実技を 1 から教えて頂き、過去問の採点もして頂いたことです。

⑥合格までに 2 年以上かかった方、または学科の免除切れを経験された方に尋ねます。長期間、粘り強く学習を続けるポイントを教えてください。

やる気のある時に勉強をして、あまり勉強をしていない時期でも受験を辞めず、受け続けること。

⑦あらためて合格通知が手元に届いた率直な気持ちをお聞かせください！

良かった。これで勉強から解放される！

⑧これから受験されるみなさまにひとこと！

応援しています！！

合格体験談⑤

31 歳男性 efti さん 契約社員



①気象予報士を取ろうとした目的は何ですか。

元々は地理を学ぶべく大学に進学し、その後、他大学に同専攻で 2 年次編入した際に気象のゼミに加入したことから、その分野を研究する傍ら勉強を始めました。当時はまだ研究のついでに勉強するくらいの意識でしたが、30 歳を迎える前に過去を振り返り、「また学問として研究したい、気象に関する仕事をしてみたい。」と思うようになり、本格的に勉強するようになりました。

②合格するまで何年かかりましたか。

大学 3 年くらいから勉強を始めたものの志は低く、且つ 1 度受験を離れた期間があるため、それを除けば約 9 年くらいだと思います。私は非常にだらしない人なので、合格するまで 15~20 回くらい受けています。ちなみに約 9 年のうち、本気で合格したいという気持ちに切り替わったのは約 2 年くらい前なので、実際ちゃんと勉強したのは 4 回分くらいです。

③お天気学園を選んだきっかけは何ですか。

自分に合う講座を探すべく、お天気学園以外の講座にも手は付けていました。きっかけは直前対策模試を行う講座がいくつかある中で、模試の結果だけでなく、各設問に対してのコメントや正解率等を細かく分析をしていただいたからです。どのような問われ方・どの分野が苦手なのかを他者の視点で再確認できるところが良いと思いました。

④お天気学園入校から合格を勝ち取るまでの学習法をぜひ教えてください。

【学科】：既に他の講座の教材や市販のテキストを基に過去問に着手していたので、合格までに何度も解き直し、何度やっても間違える問題のみ抽出してノートに書いていました。

【実技】：Web 通信講座の実技コースと模擬試験を受けましたが、元々頭が悪いので自分にとって効率の良い勉強法が分からず、当初はそれらの教材と共にただ過去問を解いて採点して模範解答を見てという感じでした。案の定、知識として定着できておらず、低迷期が続ききました。後に実技で結果が出せないのは単なる知識不足と文章の作り方に問題があるからだと思いました。そこで過去問を解き続けるのは一旦止め、気象庁の HP から穴埋め・論述の問題で問われそうな内容（台風の強さ・大きさの基準など）を全て印刷し、本番の試験で時間をかけず解けるように暗記を繰り返していました。またこれは別の講座の話で日本気象株式会社 お天気学園用ですが、過去問の模範解答（第 31 回～第 59 回）から論述問題の解答のみを抽出した資料をいただいたので、外出の際には必ず持ち運び、空いた時間を利用して主語となるもの（例：地上低気圧は）、状態（例：発達しながら、）、結果（例：〇〇まで進んだ）といった感じで無理やり当てはめ、文章の構成を考えていました。これを行うことで「何について聞いているのか、どんな気象要素を用いるのか、条件は何か」が少しずつ分かるようになり、初めて触れる問題についても、合計点はともかく 75 分以内で解けるようになりました。本番の 1 か月くらい前からは総まとめとして、擾乱の移動計算や前線解析などにも触れ、最終的に第 60 回の試験では 2 題とも約 10 分前には解き終わって十分に見直しすることができました。

⑤お天気学園で学んで良かったことや、特に勉強になったことは何ですか。

まず論述問題の添削について、何のキーワードが足りないのか（もしくは余計なのか）を細かくコメントしていただける点だと思います。本番の試験では出題者の意図を瞬時に読み取ることも必要なので、毎回提出する前に自己採点を行い、添削された結果とどれほどズレがあるのかを学ぶことができました。また私が持っていなかった相当古い過去問をこの講座で得られたことも良かったです。古い問題は最近の出題傾向には対応しきれないところもありますが、擾乱の構造や移動計算、前線解析など、今も昔も解き方自体は変わらない問題も多くあると思っています。基礎力を試すためには触れておいても良いと思いますよ。

⑥合格までに 2 年以上かかった方、または学科の免除切れを経験された方に尋ねます。長期間、粘り強く学習を続けるポイントを教えてください。

自分よりも苦勞している人がいると思うことだと思います。よく勉強で行き詰った時、大学受験用の予備校の HP にある難関大学に合格した学生達の合格体験記を見ていました。私達は一般・専門・実技（2 題）と最大 4 科目分を受験することになりますが、それは全て「気象」という 1 つの分野に過ぎません。しかし、学生たちはいくつもの科目に手を付けなければいけないわけです。彼らの方がよっぽど苦勞している、そう思ったら頑張らないわけには

©お天気学園

いかないと思い、自分が試験に合格するまでずっと見ていました。

⑦ あらためて合格通知が手元に届いた率直な気持ちをお聞かせください！

第 60 回の試験は一般知識と実技でしたが、正直なところ一般知識で落ちたと思っていました。今回も失敗だと思っていたので、「合格」と分かった時は今までのストレスが一気に解放された気がして、さすがに涙が出ました。時間・費用をかけすぎたからこそ、その喜びは大きかったです。就職できず派遣や契約社員を続けていたので、ずっと心配していたであろう家族も喜んでくれました。

⑧これから受験されるみなさまにひとこと！

私みたいにだらしのない人でも、続けていれば絶対に成果は出せます。でも皆さんは努力家だと思うので、絶対に私のように長引かせることはせず、合格を勝ち取ってください。最後に合格を目指す皆さんに問います。どうして合格したいのですか？合格したら何をしたいですか？本気で合格したいという気持ちがあるのなら、何でもいいので目標を持つことが大事だと思います。合格した時の爽快感は凄まじいものです。頑張ってください。